



VOL. 82
10年
02月

今月の
特集

開業8年間の糖尿病臨床統計

開業してから早くも8年間が経過しました

2002年2月に牛久で開業してから、早くも8年が経ちました。無事に過ごしてこれたことができたのも、患者さんとスタッフはじめ皆様のおかげと深く感謝いたします。

そこで今までの診療を振り返りながら、皆さんの血糖コントロールや血圧などに関する資料を提示して、今後の皆さんの診療に役立てることが出来ればと思います。今回は血糖に関するデータをまとめてみました。

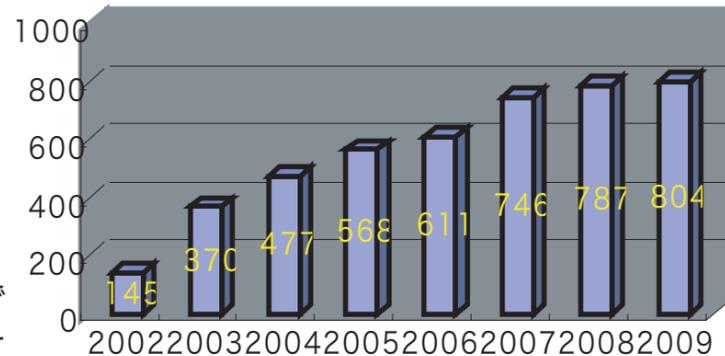
当院に通院中の糖尿病患者

	人数	年齢(歳)	HbA1c(%)	LDLC(mg/dl)
男性	837	59.2± 11.5	6.55± 1.08	107.1± 25.7
女性	533	62.1± 12.1	6.60± 1.10	113.9± 25.7
合計	1370	60.3± 11.8	6.57± 1.10	109.7± 25.9

左の表は当院を受診された糖尿病の方のプロフィールです。(2-3ヶ月に1回しか来院されない人も多いので2009年8月から11月に1回以上通院された方を抽出しました。) 全体で1370人で、HbA1cは平均で6.5%程度で比較的良好となっています。当院通院中の糖尿病患者では男性が女性に比べて人数が多く、また男性のほうがやや若くてLDLC(悪玉コレステロール)もHbA1cもわずかですが女性に比べて低値でした。1型糖尿病の方は48名で、残りの1322名が2型でした。

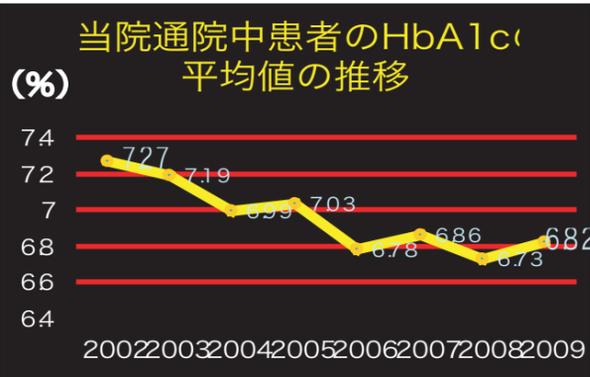
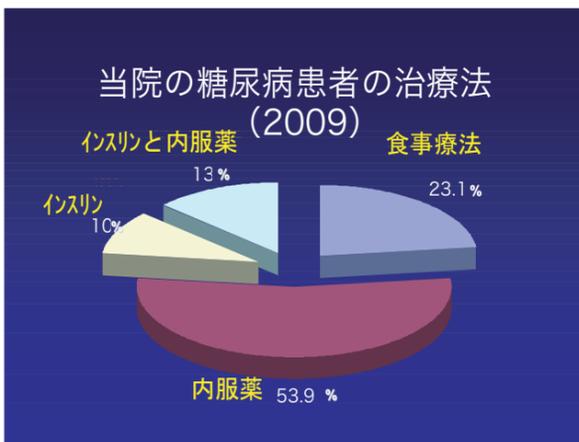
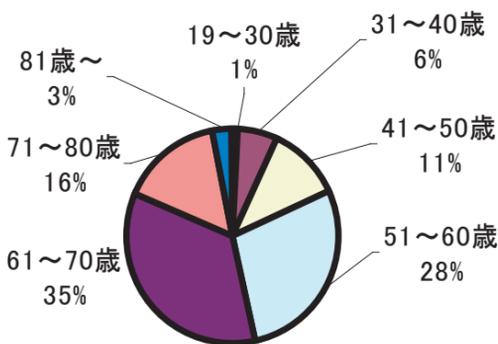
右下の図は糖尿病患者さんの月平均来院数です。だんだん増えてきているのがわかります。当院の全体の受診者のうちの3/4が糖尿病患者さんで占められています。また高血圧や甲状腺疾患などの慢性疾患でかかっている人が10%程度おられるので、両者を合計すると85%となります。2007年以降は1日の受診患者数も70名を超え、混雑することが多くなり、皆様に御迷惑をお掛けすることも多くなってきました。なるべく待ち時間が少なく出来るようがんばります。年齢別にみると(下のグラフ)当院に通院中の患者さんは60歳台の方が最も多く、次いで50歳台の方となっており、両者をあわせると60%を占めています。平均すると50歳以上の人のほうが50歳未満の人に比べて血糖コントロールはやや良好な方が多い傾向があり、70歳代の方が一番HbA1cもLDLコレステロール値も良好でした。

糖尿病患者数 (人/月)



一方、治療法別にみると(中段左のグラフ)、全体の77%の方が何らかの薬を使用中でした。内訳は飲み薬だけの人が全体の55%、インスリン注射のみで治療している人が10%、インスリンと飲み薬で治療している人が13%となつて

年齢別割合



インスリン注射をしている人(平均58歳)の方が飲み薬のみで治療している人(平均61歳)に比べてやや若い傾向がみられます。開院以来のHbA1cの推移(一番下のグラフ)を見ると糖尿病患者さん全員の平均HbA1cは徐々に低下しており、開院当時は7.3%だったのに、現在では6.8%台となってきています。日本糖尿病学会では合併症を予防する上で6.5%未満を「良」、5.8%未満を「優」として達成を促していますが、当院の患者さんでの達成率をみると、「良」と「優」をあわせて42%でした。年々血糖コントロールの良好な方の割合が多くなってきていますが、まだ道半ばといった印象です。何とか全員の方がHbA1cを6.5%未満に出来るようにスタッフ一同がんばって皆さんを応援したいと思います。一緒に、良好なコントロールを目指しましょう！！

休診のお知らせ

ご迷惑をおかけしますが
3/13の午後と2/15-16, 3/23-24は
休診とさせていただきます

2月



3月



新型インフルエンザは本州では1月の時点においてはやや下火になってはいますが、今後については定かではありません。ワクチンはどなたでも打てるようになりましたので、まだの方はお早めどうぞ。